

2019 年度

# 授業科目の解説 (4 年用)

看護学科

島根大学医学部



## 2019年度授業時間割表（看護学科4年）

### 前期

	1・2 8:30～10:10	3・4 10:25～12:05	5・6 13:00～14:40	7・8 14:55～16:35	9・10 16:50～18:30
月					
火	地域看護学演習 老年看護学実習Ⅱ（介護老人保健施設） 在宅看護学実習（訪問看護ステーション） 地域看護学実習Ⅰ（保健所、市町保健センター） 地域看護学実習Ⅱ（事業所）				
水					
木					
金					
土					

4～6月：養護展開実習事前・事後指導（土江他）  
 5～6月：養護展開実習（土江他）

5～9月：助産学実習（橋本み他）  
 卒業研究（津本他）

### 後期

1月第1週で授業を終えるため、空きコマに授業を入れてあります。各科目の授業日程表で確認してください。

	1・2 8:30～10:10	3・4 10:25～12:05	5・6 13:00～14:40	7・8 14:55～16:35	9・10 16:50～18:30
月					
火		看護教育論 （津本） N12	緩和ケア論 （若崎他） N12	助産業務管理 （橋本み他） N12	保健社会学 （神田他） N12
水					
木		クリティカルケア論 （福田他） N12	家族看護論 （若崎他） N12	看護理論講読 （福間他） N12	
金	地域看護管理論 （小笹他） N21		看護管理論 （津本） N21		

卒業研究（津本他）  
 看護学総合実習Ⅱ（小笹他）  
 教職実践演習（土江他）

※ 時間・場所の変更などがある場合は、看護学科棟2階の掲示板への掲示、代議員を通じての連絡、メール配信等により通知します。

区 分	授 業 科 目 名	単 位 数	履修年次		必 自 修 由 選 科 択 目 又 の 別	授 業 担 当 教 員			
			4 年 次						
			前	後					
専 門 教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目	保健社会学 pp5～6	2		2	選択	教 授 神田 秀幸 他		
		上級 TOEIC セミナー I p7	0.5			自由	教 授 岩田 淳		
		上級 TOEIC セミナー II p8	0.5			自由	教 授 岩田 淳		
		グローバルリテラシーセミナーI pp9～10	0.5			自由	嘱託講師 川上 サマンサ		
		グローバルリテラシーセミナーII pp11～12	0.5			自由	嘱託講師 川上 サマンサ		
		海外留学セミナー pp13～14	0.5			自由	講 師 John Telloyan		
		アカデミックイングリッシュA pp15～16	0.5			自由	講 師 John Telloyan		
		アカデミックイングリッシュB pp17～18	0.5			自由	助 教 Lynne Murphy		
		臨床英語 p19	0.5			自由	教 授 福田 誠司		
		海外研修B p20	1			自由	募集時に決定		
		海外研修C p21	1			自由	募集時に決定		
	専 門 科 目	地域看護学演習 pp23～24	1	1			必修	講 師 榊原 文 他	
		地域看護管理論 pp25～26	1		1		必修	教 授 小笹 美子	
		卒業研究 pp27～28	2		2		必修	教 授 津本 優子 他	
		看護管理論 pp29～30	2		2		必修	教 授 津本 優子	
		看護カウンセリング論	2		2		選択	2019年度は不開講	
		家族看護論 * pp31～32	2		2		選択*	教 授 若崎 淳子 他	
		緩和ケア論 pp33～34	2		2		選択	教 授 若崎 淳子 他	
		クリティカルケア論 pp35～36	2		2		選択	教 授 福田 誠司 他	
		看護理論講読 pp37～38	1		1		選択	准教授 福間 美紀 他	
		看護教育論 pp39～40	1		1		選択	教 授 津本 優子	
		老年看護学実習Ⅱ	1	1			必修	教 授 原 祥子 他	
		在宅看護学実習	1	1			必修	講 師 竹田 裕子 他	
		地域看護学実習Ⅰ	3	3			必修	教 授 小笹 美子 他	
		地域看護学実習Ⅱ	1	1			必修	講 師 榊原 文 他	
		看護学総合実習Ⅱ	1		1		必修	教 授 小笹 美子 他	
		助産科目	助産業務管理 ** pp41～42	1		1		選択	准教授 橋本 美幸 他
			助産学実習	11		11		選択	准教授 橋本 美幸 他
		教職に関する 科 目	養護展開実習事前・事後指導	1	1			選択	講 師 土江 梨奈 他
			養護展開実習	2	2			選択	講 師 土江 梨奈 他
	教職実践演習 pp43～44		2		2		選択	講 師 土江 梨奈 他	

養護教諭一種免許状取得のための教職に関する科目の単位の修得方法 (p.45掲載)

オフィスアワー (p.46掲載)

\* 助産師又は養護教諭一種の資格を得ようとする者は必修とする。

\*\* の科目については、他の学生も選択できる。

# カリキュラム模式図 [医学部看護学科]

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<b>基礎科目</b>		<b>専門教育科目 (専門基礎科目)</b>	<b>専門教育科目 (専門科目)</b>	<b>専門教育科目 (専門科目)</b>	<b>専門教育科目 (専門科目)</b>	<b>専門教育科目 (専門科目)</b>	<b>専門教育科目 (専門基礎科目)</b>
英語 英語 I A, 英語 II A 初修外国語 (選択必修) (ドイツ語 I, フランス語 I, 中国語 I, 韓国・朝鮮語 I) 健康・スポーツ スポーツ実習 I 情報科学 情報科学概論	英語 英語 I B, 英語 II B 初修外国語 (選択) (ドイツ語 II, フランス語 II, 中国語 II, 韓国・朝鮮語 II) 健康・スポーツ 健康・スポーツ科学概論 I 情報科学 情報科学演習	看護英語 I 病理学の基礎 薬理と薬剤 疾病論 I 疾病論 II 疾病論 III 障害福祉論 <b>専門教育科目 (専門科目)</b> 看護理論 看護過程論演習 日常生活援助技術演習 地域看護学概論	成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 老年看護学実習 I (於：附属病院) 小児看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 母性看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 精神看護学実習 (於：附属病院他) 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論	成人看護学援助論 I 成人看護学援助論 II 老年看護学援助論 小児看護学援助論 母性看護学援助論 精神看護学援助論 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論	成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 老年看護学実習 I (於：附属病院) 小児看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 母性看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 精神看護学実習 (於：附属病院他) 精神看護学実習 (於：附属病院他)	老年看護学実習 II (於：介護老人保健施設) 在宅看護学実習 (於：訪問看護ステーション) [地域看護学実習 I 於：保健所 市町保健センター] 地域看護学実習 II (於：事業所)	看護学総合実習 II (於：附属学校, 既実習施設)
英語 英語 I A, 英語 II A 初修外国語 (選択必修) (ドイツ語 I, フランス語 I, 中国語 I, 韓国・朝鮮語 I) 健康・スポーツ スポーツ実習 I 情報科学 情報科学概論	英語 英語 I B, 英語 II B 初修外国語 (選択) (ドイツ語 II, フランス語 II, 中国語 II, 韓国・朝鮮語 II) 健康・スポーツ 健康・スポーツ科学概論 I 情報科学 情報科学演習	看護英語 I 病理学の基礎 薬理と薬剤 疾病論 I 疾病論 II 疾病論 III 障害福祉論 <b>専門教育科目 (専門科目)</b> 看護理論 看護過程論演習 日常生活援助技術演習 地域看護学概論	成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 老年看護学実習 I (於：附属病院) 小児看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 母性看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 精神看護学実習 (於：附属病院他) 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論	成人看護学援助論 I 成人看護学援助論 II 老年看護学援助論 小児看護学援助論 母性看護学援助論 精神看護学援助論 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論	成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 老年看護学実習 I (於：附属病院) 小児看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 母性看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 精神看護学実習 (於：附属病院他) 精神看護学実習 (於：附属病院他)	老年看護学実習 II (於：介護老人保健施設) 在宅看護学実習 (於：訪問看護ステーション) [地域看護学実習 I 於：保健所 市町保健センター] 地域看護学実習 II (於：事業所)	看護学総合実習 II (於：附属学校, 既実習施設)
環境保健学 社会福祉論	環境保健学 社会福祉論	看護理論 看護過程論演習 日常生活援助技術演習 地域看護学概論	成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 老年看護学実習 I (於：附属病院) 小児看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 母性看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 精神看護学実習 (於：附属病院他) 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論	成人看護学援助論 I 成人看護学援助論 II 老年看護学援助論 小児看護学援助論 母性看護学援助論 精神看護学援助論 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論	成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 老年看護学実習 I (於：附属病院) 小児看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 母性看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 精神看護学実習 (於：附属病院他) 精神看護学実習 (於：附属病院他)	老年看護学実習 II (於：介護老人保健施設) 在宅看護学実習 (於：訪問看護ステーション) [地域看護学実習 I 於：保健所 市町保健センター] 地域看護学実習 II (於：事業所)	看護学総合実習 II (於：附属学校, 既実習施設)
<b>専門教育科目 (専門基礎科目)</b>		<b>専門教育科目 (専門科目)</b>	<b>専門教育科目 (専門科目)</b>	<b>専門教育科目 (専門科目)</b>	<b>専門教育科目 (専門科目)</b>	<b>専門教育科目 (専門科目)</b>	<b>専門教育科目 (専門基礎科目)</b>
人間心理 I 生命科学の歴史と倫理 形態と機能 I 形態と機能 II 栄養と代謝	人間心理 II 感染と免疫 形態と機能 I 形態と機能 II 栄養と代謝	基礎看護学実習 II (於：附属病院) (於：松江赤十字病院) 助産学概論 看護概論 道徳及び特別活動論 視聴覚教育論	助産診断技術学 I 助産診断技術学 II 助産過程論 健康相談論 看護基礎実習事前・事後指導 看護基礎実習	助産診断技術学 I 助産診断技術学 II 助産過程論 健康相談論 看護基礎実習事前・事後指導 看護基礎実習	助産学実習 助産学実習	助産学実習 助産学実習	看護学総合実習 II (於：附属学校, 既実習施設)
教育原論 II 人格発達心理学概説 教育社会学概説 教育相談の理論と方法	教育原論 II 人格発達心理学概説 教育社会学概説 教育相談の理論と方法	看護理論 看護過程論演習 日常生活援助技術演習 地域看護学概論	成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 老年看護学実習 I (於：附属病院) 小児看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 母性看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 精神看護学実習 (於：附属病院他) 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論	成人看護学援助論 I 成人看護学援助論 II 老年看護学援助論 小児看護学援助論 母性看護学援助論 精神看護学援助論 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論	成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 老年看護学実習 I (於：附属病院) 小児看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 母性看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 精神看護学実習 (於：附属病院他) 精神看護学実習 (於：附属病院他)	老年看護学実習 II (於：介護老人保健施設) 在宅看護学実習 (於：訪問看護ステーション) [地域看護学実習 I 於：保健所 市町保健センター] 地域看護学実習 II (於：事業所)	看護学総合実習 II (於：附属学校, 既実習施設)
教育原論 II 人格発達心理学概説 教育社会学概説 教育相談の理論と方法	教育原論 II 人格発達心理学概説 教育社会学概説 教育相談の理論と方法	看護理論 看護過程論演習 日常生活援助技術演習 地域看護学概論	成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 老年看護学実習 I (於：附属病院) 小児看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 母性看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 精神看護学実習 (於：附属病院他) 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論	成人看護学援助論 I 成人看護学援助論 II 老年看護学援助論 小児看護学援助論 母性看護学援助論 精神看護学援助論 在宅看護学 学校保健 看護情報学 看護研究方法論	成人看護学実習 I 成人看護学実習 II 老年看護学実習 I (於：附属病院) 小児看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 母性看護学実習 (於：附属病院, 保育所) 精神看護学実習 (於：附属病院他) 精神看護学実習 (於：附属病院他)	老年看護学実習 II (於：介護老人保健施設) 在宅看護学実習 (於：訪問看護ステーション) [地域看護学実習 I 於：保健所 市町保健センター] 地域看護学実習 II (於：事業所)	看護学総合実習 II (於：附属学校, 既実習施設)

凡例  教養育成科目  専門教育科目 (専門基礎科目)  専門教育科目 (専門科目)  臨地実習  助産科目  養護・教職科目 (養護教諭一種免許状)



專 門 教 育 科 目

專 門 基 礎 科 目

授業科目名	保健社会学	担当教員	教授 神田 秀幸 他		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義・討論	時間数	30	単位数	2
<b>授業概要</b>					
<p>人の健康にとって、社会における生活環境は疾病の発症や流行に重要な要素である。</p> <p>一方、健康問題を解決していくためには、社会環境として展開される健康対策や医療環境の整備などの社会からの実践アプローチが求められる。本科目では、社会と保健医療の関わりを様々な視点から取り上げ、人々の健康を維持・増進できる社会環境や集団的アプローチ法について学習することを目的としている。</p>					
<b>G I O（一般目標）</b>					
<p>日本は、産業構造の高度化、人口の高齢化、社会の複雑化など社会の成熟期を迎えたと考えられる。これに伴って、病気や死因の構造も変化し、人々が保健医療に期待することも変化してきた。再生医療や遺伝子工学の応用など先端的な課題から、健康づくりやプライマリケアの整備など幅広い課題まで多様な期待がある。本科目では、これらの課題に、保健医療従事者になる者として社会との関係から対策や改善策を考えられる思考を学習することを目的とする。</p>					
<b>S B O（行動目標）</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会と保健医療の関係を説明できる。</li> <li>2. 社会における技術革新と健康について説明できる。</li> <li>3. 災害時の保健医療行動が考察できる。</li> <li>4. 生活習慣改善（禁煙等）のための保健指導の技法（行動変容技法等）を説明できる。</li> <li>5. 職場における健康管理や環境管理について概説できる。</li> <li>6. 職場における産業看護師、産業保健師の役割を説明できる。</li> <li>7. 食生活と生活習慣病との関係や食品の機能性について説明できる。</li> <li>8. 自然環境や生活環境による健康影響とその対策を説明することができる。</li> <li>9. 生活習慣病や生活習慣と健康の関係について説明できる。</li> </ol>					
<b>成績評価の方法</b>					
レポート成績と講義への主体的な参加（質問や討論）により総合評価する。					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>					
<p>永田頌史 監修：チームで取り組む職場のメンタルヘルス。診断と治療社，東京，2011</p> <p>足達淑子 著：行動変容のための面接レッスン。医歯薬出版，東京，2008</p>					
<b>オフィスアワー</b>					
E-mail：kanpo2@med.shimane-u.ac.jp へ連絡して下さい。					



## 授業計画

回	月日(曜)	時間	授業内容	担当者
1	10月1日(火)	16:50-18:30	保健統計	久松
2	10月8日(火)	16:50-18:30	医療臨床と社会	佐藤
3	10月29日(火)	16:50-18:30	保健医療と臨床医学	佐藤
4	11月5日(火)	16:50-18:30	予防医学と疫学研究(1): 概論	久松
5	11月12日(火)	16:50-18:30	予防医学と疫学研究(2): 危険因子	久松
6	11月19日(火)	16:50-18:30	予防医学と疫学研究(3): 循環器疾患	久松
7	11月26日(火)	16:50-18:30	医療と法	谷口
8	12月3日(火)	16:50-18:30	医療安全管理	谷口
9	12月10日(火)	16:50-18:30	保健医療制度	神田
10	12月12日(木)	16:50-18:30	予防医学と疫学研究(4): 国際比較	久松
11	12月17日(火)	16:50-18:30	産業保健活動の実際	神田
12	12月19日(木)	16:50-18:30	地域保健	神田
13	12月24日(火)	16:50-18:30	災害と保健医療	神田
14	1月7日(火)	16:50-18:30	精神保健	神田
<p>備 考</p> <p>講義室：N12講義室</p> <p>講義日程：火曜日 16:50-18:30, 12月12日(木), 12月19日(木) 16:50-18:30 も講義があります。</p>				

授業科目名	上級TOEICセミナー I (Advanced TOEIC Seminar I)	担当教員	教授 岩田 淳		
開講年次及び学期	看護学科1 - 4年	必修・選択の別	自由		
開講形態	単位認定用科目	時間数	(20時間)	単位数	0.5
<b>授業概要</b>					
<p>本科目は、TOEIC Listening &amp; Reading Test 600点（日常生活のニーズを充足し限定された範囲内では業務上のコミュニケーションができるレベル）のスコアを有する学生に認定する科目です。</p> <p>* 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。</p>					
<b>G I O（一般目標）</b>					
<p>TOEIC Listening &amp; Reading Testの受験により、仕事で役立つ英語リスニング能力、英文法力、並びに英語読解能力の向上を目指す。数値的な目標としては、TOEIC Listening &amp; Reading Test 600点以上の獲得を目指す。</p>					
<b>S B O（行動目標）</b>					
<p>(1) 文レベルからある程度まとまった量の英語を聞き、その内容が理解できる。</p> <p>(2) 与えられた英文について、すばやく的確な文法的判断ができる。</p> <p>(3) 与えられた英語の文章について、求められた情報をさっと読みとることができる。</p>					
<b>成績評価の方法</b>					
<p>本学入学後に受験したTOEIC Listening &amp; Reading TestもしくはTOIEC Listening &amp; Reading Test IP（団体受験）のスコアが600点以上であれば、履修届とスコアシートを提出することで、本科目の単位を認定する。1年生は年2回（7月、2月）にTOEIC Listening &amp; Reading Test IP 試験を実施します。それ以外の学生は松江キャンパスで年6回（1,3,5,7,9,11月）TOEIC Listening &amp; Reading Testを受験できます（要受験料：5,725円税込）</p>					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>					
<p>(参考書)</p> <p>(1) TOEICテスト公式問題集 新形式問題対応編（国際ビジネスコミュニケーション協会） 3,024円</p> <p>(2) 公式 TOEIC Listening &amp; Reading 問題集 1-4（国際ビジネスコミュニケーション協会） 各3,024円</p>					
<b>オフィスアワー</b>					
<p>英語学習支援室eクリニック（講義棟2階）にて受験に関する助言や情報を提供します。また参考書、問題集が閲覧できます。eクリニックオフィスアワー：平日10:00-18:30</p>					

授業科目名	上級TOEICセミナーⅡ (Advanced TOEIC SeminarⅡ)	担当教員	教授 岩田 淳		
開講年次及び学期	看護学科1-4年	必修・選択の別	自由		
開講形態	単位認定用科目	時間数	(20時間)	単位数	0.5
<b>授業概要</b>					
<p>本科目は、TOEIC Listening &amp; Reading Test 730点（どんな状況でも適切なコミュニケーションができる素地を備えているレベル）のスコアを有する学生に認定する科目です。</p> <p>* 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。</p>					
<b>G I O（一般目標）</b>					
<p>TOEIC Listening &amp; Reading Test の受験により、仕事で役立つ英語リスニング能力、英文法力、並びに英語読解能力の向上を目指す。数値的な目標としては、TOEIC730点以上の獲得を目指す。</p>					
<b>S B O（行動目標）</b>					
<p>(1) 文レベルからある程度まとまった量の英語を聞き、その内容が理解できる。</p> <p>(2) 与えられた英文について、すばやく的確な文法的判断ができる。</p> <p>(3) 与えられた英語の文章について、求められた情報をさっと読みとることができる。</p>					
<b>成績評価の方法</b>					
<p>本学入学後に受験したTOEIC Listening &amp; Reading TestもしくはTOIEC Listening &amp; Reading Test IP（団体受験）のスコアが730点以上であれば、履修届とスコアシートを提出することで、本科目の単位を認定する。1年生は年2回（7月、2月）にTOEIC Listening &amp; Reading Test IP 試験を実施します。それ以外の学生は松江キャンパスで年6回（1,3,5,7,9,11月）TOEIC Listening &amp; Reading Testを受験できます（要受験料：5,725円税込）</p>					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>					
(参考書)					
(1) TOEICテスト公式問題集 新形式問題対応編（国際ビジネスコミュニケーション協会） 3,024円					
(2) 公式 TOEIC Listening & Reading 問題集1-4（国際ビジネスコミュニケーション協会） 各3,024円					
<b>オフィスアワー</b>					
<p>英語学習支援室eクリニック（講義棟2階）にて受験に関する助言や情報を提供します。また参考書、問題集が閲覧できます。eクリニックオフィスアワー：平日10:00-18:30</p>					

授業科目名	グローバルリテラシーセミナーⅠ (Seminar on Global Literacy I)	担当教員	嘱託講師 川上 サマンサ			
開講年次及び学期	看護学科1 - 4年・前期	必修・選択の別	自由			
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5	
<b>授業概要</b>						
<p>高度な英語コミュニケーション能力を身につけるとともに、異文化間に生じる諸課題を検討し、国際感覚あふれるグローバルな視野から物事を批判的に捉えることができる資質（グローバル・リテラシー）を身につけることを目的とする。本授業では、適切な英語表現を用いてディスカッションをする、意見を述べる、議論を進行する、進捗状況を報告する、といった様々なミーティングの場面に役立つ英語表現の演習を行う。</p> <p>* 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。</p>						
<b>G I O（一般目標）</b>						
Students will learn language to politely and actively participate in meetings.						
<b>S B O（行動目標）</b>						
Students will gain confidence and the ability to express themselves more clearly.						
Meeting Skills:						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ How to politely speak up and express opinions</li> <li>・ How to agree and disagree with others</li> <li>・ How to report progress</li> <li>・ Setting up a meeting and steps of the meeting</li> </ul>						
<b>成績評価の方法</b>						
Attitude (10 points), Homework (30 points), Midterm Test (30 points: 15 points written, 15 points interview), Final Test (30 points: 15 points written, 15 points interview)						
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>						
教科書：無し						
An online LMS (learning management system) will be used.						
<b>オフィスアワー</b>						
質問はメールで受け付けます。Email: shimane.sam@gmail.com						

## 授業計画

回	月日	時間	場所	テーマ	授業内容
1	5.13(月)	17:30 -19:00	L2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Self Introduction</li> <li>• Class Introduction</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Self introductions</li> <li>• Go over syllabus and how to study for this class</li> </ul>
2	5.20(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Arranging and Preparing for a Meeting</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Emails</li> <li>• General Meeting Vocabulary</li> <li>• Agendas</li> </ul>
3	5.27(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Opening a Meeting</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Using to-clauses to state purpose</li> <li>• Using sequencing words to make plans easily understood</li> <li>• Checking understanding</li> </ul>
4	6.3(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Presenting Information / Reporting on Progress</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Stating facts and giving reasons</li> <li>• Building an argument for your position</li> <li>• Asking for opinions and feedback</li> </ul>
5	6.10(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Mid-term Test Written and Interview</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Written and Interview</li> </ul>
6	6.17(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Problem Solving</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Explaining the problem / brainstorming</li> <li>• Making suggestions</li> <li>• Responding to suggestions</li> </ul>
7	6.24(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Agreeing and Disagreeing</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Building/developing an argument</li> <li>• Using conditional to talk about reasons and consequences</li> <li>• Agreeing and disagreeing</li> </ul>
8	7.1(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Summarizing and Closing</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Summarizing</li> <li>• Closing a meeting</li> <li>• Organizing follow-up</li> </ul>
9	7.8(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Class Summary / Overview</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Review points that were difficult</li> <li>• Ask questions and practice before the test</li> <li>• Feedback</li> </ul>
10	7.22(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Final Test Written and Interview</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Written and Interview</li> </ul>

### 備 考

Students are expected to do online homework before each class; this homework will prepare students for the class. In class, students should be ready to practice using what they have studied to speak. Class time will be used for communicative activities, maximizing students' speaking time.

授業科目名	グローバルリテラシーセミナーⅡ (Seminar on Global Literacy Ⅱ)	担当教員	嘱託講師 川上 サマンサ		
開講年次及び学期	看護学科1 - 4年・後期	必修・選択の別	自由		
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5
<b>授業概要</b> <p>高度な英語コミュニケーション能力を身につけるとともに、異文化間に生じる諸課題を検討し、国際感覚あふれるグローバルな視野から物事を批判的に捉えることができる資質(グローバル・リテラシー)を身につけることを目的とする。本授業では、ディスカッションやディベートにおいて、相手の意見に同意する、反対する、要求を伝える、相手や自分のニーズを理解した上で議論する、妥協点を見出す、といった英語による「交渉スキル(negotiating skills)」を身につけるための実践的な語学演習を行います。</p> <p>* 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間(看護学科3単位)以上履修した学生には修了認定証(Certificate for Advanced English Skills)が授与されます。</p>					
<b>G I O (一般目標)</b> <p>Students will learn language to politely and actively participate in negotiation situations.</p>					
<b>S B O (行動目標)</b> <p>Students will gain confidence and the ability to express themselves more clearly in order to obtain their goals.</p> <p>Negotiating Skills:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ How to prepare for negotiating by considering the needs and wants of others and yourself</li> <li>・ How to express your needs and wants</li> <li>・ How to agree and disagree with others</li> <li>・ How to bargain and compromise</li> </ul>					
<b>成績評価の方法</b> <p>Attitude (10 points), Homework (30 points), Midterm Test (30 points: 15 points written, 15 points interview), Final Test (30 points: 15 points written, 15 points interview)</p>					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b> <p>教科書：無し An online LMS (learning management system) will be used.</p>					
<b>オフィスアワー</b> <p>質問はメールで受け付けます。Email: shimane.sam@gmail.com</p>					

## 授業計画

回	月日	時間	場所	テーマ	授業内容
1	10.21(月)	17:00 -18:30	L2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Self Introduction</li> <li>• Class Introduction</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Self introductions</li> <li>• What is negotiation? / The ten rules of negotiation</li> <li>• Go over syllabus and how to study for this class</li> </ul>
2	10.28(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Preparing to Negotiate</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Asking for and giving opinions and reasons</li> <li>• Responding to opinions (agreeing &amp; disagreeing)</li> <li>• Prioritizing: HIT and SMART objectives</li> </ul>
3	11.11(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Opening the Negotiation</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Welcoming and making introductions</li> <li>• Making small talk</li> <li>• Setting the agenda and telling interests</li> </ul>
4	11.18(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Making Proposals</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Making proposals</li> <li>• Accepting &amp; rejecting proposals</li> <li>• Offering counter-proposals</li> </ul>
5	11.25(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Mid-term Test Written and Interview</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Written and Interview</li> </ul>
6	12.9(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Reaching Agreement</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Persuading and bargaining</li> <li>• Checking understanding</li> <li>• Clarifying and showing understanding</li> </ul>
7	12.16(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Dealing with Deadlock</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Asking &amp; answering questions</li> <li>• Slowing things down and taking a break</li> <li>• Body language</li> </ul>
8	12.23(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Concluding the Deal</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Summarizing</li> <li>• Confirming agreement</li> <li>• Outlining future actions/follow-up</li> <li>• Thanking and saying good bye</li> </ul>
9	1.6(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Class Summary / Overview</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Review points that were difficult</li> <li>• Ask questions and practice before the test</li> <li>• Feedback</li> </ul>
10	1.20(月)	〃	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Final Test Written and Interview</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Written and Interview</li> </ul>

### 備 考

Students are expected to do online homework before each class; this homework will prepare students for the class. In class, students should be ready to practice using what they have studied to speak. Class time will be used for communicative activities, maximizing students' speaking time.



授業科目名	海外留学セミナー (Seminar on Overseas Study)	担当教員	講師 John Telloyan			
開講年次及び学期	看護学科1 - 4年・後期	必修・選択の別	自由			
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5	
<b>授業概要</b> <p>This course is designed as a practical overview of culture and intercultural communication. The teacher will attempt to link theory, research, practice and experience with specific activities to help the students develop cultural awareness. Students will also study and use basic powerpoint skills to create short group presentations to introduce Japanese culture, the Izumo area, our school and the healthcare system of Japan when they go overseas.</p> <p>本授業では、海外研修や留学に必要となる語学演習を行うとともに、異文化の理解に関する理解を深めます。また日本や島根の文化、大学、日本の医療制度を英語で紹介するプレゼンテーションの演習を行います。(海外研修A参加者は必修)。</p> <p>* 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間(看護学科3単位)以上履修した学生には修了認定証(Certificate for Advanced English Skills)が授与されます。</p>						
<b>G I O (一般目標)</b> <p>The goal of this class is to help the students improve their cultural awareness as well as to improve their listening and speaking skills. We will use listening exercises specifically geared toward travel English under the broader TOEIC theme. We will also go over a few basic powerpoint techniques to help students prepare brief presentations to introduce various topics about Japanese culture, the Izumo area, our school and the healthcare system of Japan when they go overseas.</p>						
<b>S B O (行動目標)</b> <p>Speaking: Advanced practice of key vocabulary and sentence patterns essential to basic conversational skills.</p> <p>Culture: Improved self-awareness as well as deeper cultural awareness.</p> <p>Technology: work with basic powerpoint techniques.</p>						
<b>成績評価の方法</b> <p>Attitude: 10%</p> <p>Exam (presentation): 90%</p>						
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b> <p>教材は授業中に配布</p>						
<b>オフィスアワー</b> <p>掲示板に掲示し周知する。</p>						



## 授業計画

回	月日	時間	場所	テーマ	授業内容
1	11.26(火)	17:00 ~ 18:30	L2	Intro + Toeic Travel Unit 1a	So you don't need dinner tonight?
2	12.3(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 1b	Cultural Reading, pp. 10-11
3	12.10(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 2	Do you have anything to declare?
4	12.17(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 3	Powerpoint Advice
5	12.24(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 4	What is culturally acceptable?
6	1.7(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 5	Homestay advice : Touring the house
7	1.14(火)	〃	〃	Toeic Travel Unit 6	What do you mean? NZ videos: Hobbit + Hobbiton
8	1.21(火)	〃	〃	Communications with your host family	Cultural Values Clarification
9	2.4(火)	〃	〃	Homestay Do's and Don'ts	"Here's your tip." Saying good-bye
10	2.18(火)	〃	〃	Student Presentations	Confidence in communication (Test)
備 考					

授業科目名	アカデミックイングリッシュA (Presentation Skills)	担当教員	講師 John Telloyan		
開講年次及び学期	看護学科1 - 4年・前期	必修・選択の別	自由		
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5
<b>授業概要</b> <p>The mere ability to speak English is no guarantee that a person can present in English. Presentations in English will build and improve student English skills and knowledge and give confidence to make effective presentations in English.</p> <p>セミナーや学会で英語でプレゼンテーションする際に必要となる基礎的なプレゼンテーションスキルの向上を目指した語学演習を行います。</p> <p>* 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。</p>					
<b>G I O（一般目標）</b> <p>Speaking of Speech New Edition focuses on the three messages in speech: the physical message, the visual message and the story message. We will attempt to build the students' skills and knowledge, starting with the basics. We will examine a whole range of techniques. Each step will introduce the students to new skills and language which we will practice.</p>					
<b>S B O（行動目標）</b> <p>Students will analyze various presentations, give full presentations, get feedback and set targets for future presentations. The focus will be on the students at all stages. We will encourage each student to analyze, experiment, take a risk, have fun, accept, reject and finally, to find out what works personally for each student.</p>					
<b>成績評価の方法</b> <p>Attitude: 10%</p> <p>Final Speech: 90%</p> <p>1) each student should purchase their own new textbook for this class</p>					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b> <p>Book: Speaking of Speech (New Edition)  Authors: David Harrington and Charles LeBeau  Company: MacMillan  ¥2,600 (税別)</p>					
<b>オフィスアワー</b> <p>掲示板に掲示し周知する。</p>					

## 授業計画

回	月日	時間	場所	テーマ	授業内容
1	5.7(火)	17:30 ~ 19:00	L2	Intro + Unit 1	Posture and Eye Contact
2	5.14(火)	〃	〃	Unit 2	Gestures
3	5.21(火)	〃	〃	Unit 3	Voice Inflection
4	5.28(火)	〃	〃	Unit 4	Effective Visuals
5	6.4(火)	〃	〃	Unit 5	Explaining Visuals
6	6.11(火)	〃	〃	Unit 6	The Introduction
7	6.18(火)	〃	〃	Unit 7	The Body
8	6.25(火)	〃	〃	Unit 8	The Conclusion
9	7.2(火)	〃	〃	Review	Practice for the Final Presentation
10	7.9(火)	〃	〃	Final Exam	Final Performance
備 考					

授業科目名	アカデミックイングリッシュB (Writing Skills)	担当教員	助教 Lynne Murphy		
開講年次及び学期	看護学科1 - 4年・後期	必修・選択の別	自由		
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5
<b>授業概要</b> <p>This course is designed as an elective course for students wishing to advance their academic writing skills. We are striving to provide students with a practical and efficient approach to learning the skills, strategies and knowledge necessary for successful writing.</p> <p>本授業では、英語論文やレポート執筆の際に必要な上級レベルのライティング能力の向上を目指した語学演習を行います。</p> <p>* 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。</p>					
<b>G I O（一般目標）</b> <p>The goal of this class is to introduce students to the academic paragraph. We will review sentence structure and quickly move to developing and formatting an academic paragraph.</p>					
<b>S B O（行動目標）</b> <p>Each unit contains an authentic text to support students to provide ideas and context. Students will read and analyze these texts to see how others have written on the same or similar topics. The students will be encouraged to work together, share ideas and edit their own writing to refine their writing to be the best it can be.</p>					
<b>成績評価の方法</b> <p>Attitude: 10%, Assignments: 20%, Final Exam: 70%</p>					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b> <p>Book: Effective Academic Writing (2nd Edition)  Authors: Alice Savage Masoud Shafiei  Company: Oxford University Press  ISBN : 978-0-19-432346-8</p>					
<b>オフィスアワー</b> <p>掲示板に掲示し周知する。</p>					

## 授業計画

回	月日	時間	場所	テーマ	授業内容
1	10.31(木)	17:00~ 18:30	L2	Introduction + Unit 1	Stimulating ideas; Developing a paragraph
2	11.7(木)	〃	〃	Sentence + paragraph	Fragments / run-on sentences
3	11.14(木)	〃	〃	Unit 2	Descriptive organization
4	11.21(木)	〃	〃	Descriptive paragraphs	Specific language / use of 'be'
5	11.28(木)	〃	〃	Unit 3	Example organization
6	12.5(木)	〃	〃	Example paragraphs	Using examples as supporting details
7	12.12(木)	〃	〃	Unit 4	Process organization
8	12.19(木)	〃	〃	Process paragraphs	Sensory and emotional details
9	1.9(木)	〃	〃	Unit 5	The simple past and past continuous forms
10	1.16(木)	〃	〃	Opinion paragraphs (Test)	Using reasons to support an opinion (Test)
備 考					

授業科目名	臨床英語 (English for Clinical Purposes)	担当教員	教授 福田 誠司		
開講年次及び学期	看護学科1 - 4年・後期	必修・選択の別	自由		
開講形態	演習	時間数	(20時間)	単位数	0.5
<b>授業概要</b>					
<p>本科目は医学英文の読解や英語によるプレゼンテーションとディスカッションを通じて、臨床に必要な英語力の向上を目指します。主な対象は4年生以上としますが1-3年生についても受講できます。授業は学生が中心の英語によるプレゼンテーションとディスカッションをメインに進めます。海外からの留学生に参加してもらうことも配慮し国際的に通用する英語の基礎をトレーニングします。通年木曜日に実施し、初回の5/9(木)以降は教員と受講者で相談して決定します。</p> <p>*本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。</p>					
<b>G I O（一般目標）</b>					
臨床医学に関する科学的・医学的事項に関して自ら発表したり質疑応答することができる					
<b>S B O（行動目標）</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 臨床医学に関する科学的・医学的事項に関して英語で発表することができる</li> <li>2) 英語で質疑応答することができる</li> <li>3) 英語で記載された症例報告や研究論文を理解できる</li> </ol>					
<b>成績評価の方法</b>					
<p>授業への取り組み（授業の準備、出席、討論への参加など） 50%</p> <p>レポートもしくは課題発表 50%</p>					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>					
<p>New England Journal of Medicine の Case Report 100 cases in Clinical Medicine</p>					

授業科目名	海外研修 B (Overseas Study Program B)	担当教員	募集時に決定		
開講年次及び学期	医学科6年生・5月～11月の間2～4週間	必修・選択の別	自由		
開講形態	実習	時間数	(40時間)	単位数	1

### 授業概要

医療に関する体験を主たる目的とした40時間以上の医学部主催の海外研修（ワシントン大学、タマサート大学、マヒドン大学、コンケン大学、北京大學、慶尚大学校、メルボルン大学等）。海外の医療施設・研究所等で医療に関する体験学習、施設見学、異文化体験等を通じて、海外における地域医療、家庭医療について学び医療人としての視野を広げることがを目的とします。

- ・海外の地域医療・家庭医療について学ぶ。
- ・海外の保健制度について学ぶ。
- ・海外の医療教育機関や施設の見学を通じて、医療に関する知識や視野を広げる。
- ・異文化交流体験を通じて、国際性を養う。

\*本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。

### 対 象

医学科（主として6年）を対象とした海外研修。

### 成績評価の方法

事前指導、事後指導、研修報告書及び報告会での発表により評価する。

### 実習日程・履修申込時期その他

実習日程、履修申込時期は、後日通知する。応募者を対象に選考を行い、研修先を決定します。

授業科目名	海外研修C (Overseas Study Program C)	担当教員	募集時に決定		
開講年次及び学期	看護学科1-4年・通年	必修・選択の別	自由		
開講形態	実習	時間数	(40時間)	単位数	1

### 授業概要

医学部が主催する「海外研修A」、「海外研修B」とは異なり、学生が自主的かつ主体的に行う医療に関する語学学習や語学研修や体験を主たる目的とした40時間以上の海外研修。

学生が主体的に企画した計画を事前に教務委員会で審査する。

審査項目は次のとおり

- ・研修目的、内容、期間、時間数
- ・受入機関の体制（施設・人員等）
- ・安全確保と緊急時の連絡体制（渡航先の安全確認、安全教育、海外旅行保険加入、緊急時連絡網等）
- ・事前研修（安全教育等）、事後研修（報告書、報告会）の計画

審査で「海外研修C」に該当する研修と判断された場合、研修実施後に報告書を提出すること。提出された報告書を教務委員会で審議し、「海外研修C」の単位を認定する。

\* 本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間（看護学科3単位）以上履修した学生には修了認定証（Certificate for Advanced English Skills）が授与されます。

### 対 象

医学科、看護学科全学年を対象とした海外研修。

### 成績評価の方法

事前指導、事後指導、研修報告書及び報告会での発表により評価する。

### 実習日程・履修申込時期その他

海外研修C申請書及び添付書類を渡航1月前までに学務課教育改革・教務担当に提出する。企画前であっても学務課教育改革・教務担当で相談を受け付ける。





專 門 教 育 科 目

專 門 科 目

授業科目名	地域看護学演習	担当教員	講師 榊原 文 他		
開講年次及び学期	4年 前期	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	30	単位数	1

### 授業概要

地域看護学演習では、既習の地域看護学関連の授業・演習及び臨地実習での知識・技術を基に、地域の人々の健康な生活の維持・増進のために展開する公衆衛生看護活動を学習する。実際に、地域診断、家庭訪問、健康教育、保健指導が実施できるように、シミュレーション学習やグループワークを行う。

地域看護学実習Ⅰ終了後には、実習での学びを共有化するための発表会および家庭訪問事例検討会を行う。

### G I O (一般目標)

1. 実習地の地域診断を通して、地域の健康課題を導く方法を理解する。
2. 公衆衛生看護活動の実際を理解し、保健師の役割を考察する。
3. 集団援助技術の基本を理解し、実践できる。
4. 個別援助技術の基本を理解し、実践できる。

### S B O (行動目標)

1. 都道府県および市町村の組織・機能が説明できる。
2. 県保健所の保健活動の実際と県保健師の役割が説明できる。
3. 市町村の保健活動の実際と市町村保健師の役割が説明できる。
4. 地域診断を通じて、健康課題の抽出とその解決のための方法を考えることができる。
5. 健康教育演習を通じて、健康教育指導案の作成および実施ができる。
6. 家庭訪問における事例展開を理解し、ロールプレイによる家庭訪問が実施できる。
7. 乳幼児健診演習を通じて、問診および保健指導が実施できる。

### 成績評価の方法

地域看護学実習前試験、演習の態度、レポートを総合的に評価する。

### 教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

【参考書】 荒賀直子・後閑容子編集：公衆衛生看護学. Jp, インターメディカル  
 標準保健師講座2 公衆衛生看護技術, 医学書院, 最新版  
 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動, 医学書院, 最新版  
 日本看護協会監修：保健師業務要覧, 日本看護協会出版会

## 授業計画

回	テーマ	授業内容	担当者
1	保健活動の実際（１）	保健所・市町村の機能・役割	榊原
2	保健活動の実際（２）	公衆衛生と保健所の役割	村下
3	保健活動の実際（３）	保健所業務と保健師の役割	岩野
4	保健活動の実際（４）	私が保健師として歩んできた道	岩野， 鎌田
5	地域診断（１）	地域診断による健康課題の抽出方法	榊原
6	地域診断（２）	地区踏査・インタビューの方法	榊原
7	地域診断（３）	地域診断グループワーク	小笹， 榊原， 竹田， 宇都宮
8	家庭訪問（１）	家庭訪問の実際	榊原
9	家庭訪問（２）	家庭訪問ロールプレイ	小笹， 榊原， 竹田， 宇都宮
10	乳幼児健診（１）	乳幼児健診の実際	榊原
11	乳幼児健診（２）	乳幼児健診演習	小笹， 榊原， 竹田， 宇都宮
12	健康教育	健康教育指導案の作成	榊原
13	実習まとめ（１）	実習のまとめ発表	小笹， 榊原， 竹田， 宇都宮 嘱託講師
14	実習まとめ（２）	家庭訪問事例のグループワーク	小笹， 榊原， 竹田， 宇都宮 嘱託講師
<p>備 考 第４実習室で行います。</p>			

授業科目名	地域看護管理論	担当教員	教授 小笹 美子		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義・演習	時間数	30	単位数	1
<b>授業概要</b> <p>公衆衛生看護活動を効果的に推進するために、1) 保健師業務管理, 2) 保健事業管理, 3) 地域管理, 4) 人材育成, 5) 危機管理, 6) 他職種との連携について学ぶ。地域の多様な健康課題を解決するための地域マネジメントについて学ぶ。</p> <p>さらに、既習の地域看護学関連科目および実習での知識・技術を基に、公衆衛生看護学の学びを統合し、保健師として就業するために必要な知識、技術、態度を学ぶ。</p>					
<b>G I O (一般目標)</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域看護管理の基本を学び、組織・関係機関・地域の調整を図り、それぞれが有機的に機能できるよう働きかける保健師の役割が理解できる。</li> <li>2. 保健師の活動を包括的に捉え、個人の健康づくりから地域の健康づくりに広がる保健活動の計画実施から評価までを体系的に理解できる。</li> </ol>					
<b>S B O (行動目標)</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域看護管理の機能が理解できる。</li> <li>2. 健康課題を解決するための地域看護管理の実際が説明できる。</li> <li>3. 地域ケアシステムづくりの実際が説明できる。</li> <li>4. 公衆衛生看護の人材育成について理解する。</li> <li>5. 健康危機管理や災害看護の実際について説明できる。</li> </ol>					
<b>成績評価の方法</b> <p>試験、授業への出席状況やレポート等で総合的に評価する。</p>					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b> <p>【教科書】日本看護協会監修：保健師業務要覧，日本看護協会出版会，最新版 国民衛生の動向</p> <p>【参考書】平野かよ子編集：最新 保健学講座5 公衆衛生看護管理論，メヂカルフレンド社 麻原きよみ編集：公衆衛生看護学テキスト1 公衆衛生看護学原論 医歯薬出版 佐伯和子編集：公衆衛生看護学テキスト2 公衆衛生看護技術 医歯薬出版 近藤克則：健康格差社会 医学書院</p>					

## 授業計画

回	月日	曜日	授業内容	担当者
1	9月27日	金	個（家庭訪問）から地区活動へ －地域実習の振り返り1－	小笹
2	9月27日	金 10:25～	地域組織の育成－地域実習の振り返り2－	小笹
3	10月4日	金	地域ネットワークづくり，多職種との連携	小笹
4	10月4日	金 10:25～	公衆衛生看護活動の実践 －地区担当制－	小笹
5	10月11日	金	地域の支援困難事例	小笹
6	10月11日	金 10:25～	保健師の人材育成 災害時支援	健康福祉部 統括保健師 林 礼子
7	11月1日	金	健康危機管理	小笹
8	11月1日	金 10:25～	災害への備え（災害看護）	小笹
9	11月8日	金	地域の健康課題の対策（施策化）	小笹
10	11月8日	金 10:25～	保健医療福祉の統合－地域包括ケア－	出雲保健所長 牧野由美子
11	11月15日	金	実践活動報告から研究へ	小笹
12	11月15日	金 10:25～	働く人の健康（労働衛生，ワークライフバランス）	小笹
13	11月22日	金	保健統計の活用	小笹
14	11月29日	金	公衆衛生を支える人々との連携	小笹
	12月6日	金	（試験）	小笹

備 考

（金）8:30～10:10, 10:25～12:05

\*都合で予定が変更になることがある。

授業科目名	卒業研究	担当教員	科目責任者：津本 優子 看護学科教員全員		
開講年次及び学期	4年 通年	必修・選択の別	必修		
開講形態	演習	時間数	60	単位数	2
<b>授業概要</b>					
<p>看護研究のプロセスを主体的に辿る経験をとおして、科学的・論理的思考力を養うとともに、看護専門職として生涯にわたって看護を探究していく研究的態度や創造力、自律的態度を培う。</p>					
<b>G I O（一般目標）</b>					
<p>3年次の「看護研究方法論」で習得した知識と技術を活用して、担当教員の指導・助言を受けながら、主体的に研究に取り組む。</p> <p>自己の看護への関心や探究心を研究への動機として、十分な文献検討を経て研究テーマと研究目的を設定する。目的を達成するための具体的で、且つ無理のない実現可能な研究計画を立てて実行する。成果を発表し、集録集にまとめる。</p>					
<b>S B O（行動目標）</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己の研究動機に基づいて文献検討を行い、関心領域の知見を整理して、研究テーマを導出できる。</li> <li>2. 研究の目的を明確に位置づけ、目的の解明のための具体的且つ論理的の一貫性のある研究計画を立案する。</li> <li>3. 研究の実施に当たっては、「看護研究倫理指針」に基づいて適切に倫理的配慮を実行することができる。</li> <li>4. 適切な方法を用いてデータの分析を行うことができる。</li> <li>5. 目的・方法・結果・考察の形式で構成された、論理的の一貫性のある発表ができる。</li> <li>6. 発表会での批判を吟味して、所定の書式を用いて論文形式の報告書（A4版：2枚）にまとめることができる。</li> </ol>					
<b>成績評価の方法</b>					
上記の行動目標の達成の状況から総合的に判断する。					
<b>教科書</b>					
参考書					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ホロウェイ他，野口美和子監訳，『ナースのための質的研究入門』，医学書院</li> <li>2) 石井京子他，『ナースのための質問紙調査データ分析』，医学書院</li> </ol>					

## 授業計画

時期	学習進行の目安	全体の進行	運営
1月		30日 第1回オリエンテーション 研究テーマ・概要調査票配布	
2月	研究的関心の自問と整理		教員指導体制の検討
3月	研究テーマの焦点化	4日正午：研究テーマ・概要の提出	中旬：教員配属の検討と決定
4月	※教員配属発表後1週間以内 ・ゼミ・指導日程の調整 ・研究テーマ、キーワードの確認 ※老年看護学実習Ⅱのインターバル ・文献収集及びクリティーク	初旬 ：第2回オリエンテーション 指導教員配属の提示	・附属病院看護部へ研究協力の依頼
5月	※在宅看護学実習のインターバル ・文献収集及びクリティーク ・研究テーマの絞込み		・卒業研究発表等要領案の作成 ・附属病院及び学外協力施設の研究実施 フィールドの学科内調整 (5月中旬：1階資料室に調整表の掲示)
6月	※地域看護学実習Ⅰのインターバル ・研究テーマの決定 ・研究デザインの決定 ・具体的な研究計画の立案	⇒研究倫理申請 ：第1月曜日 (6/3) 第3月曜日 (6/17)	
7月	※地域看護学実習Ⅰのインターバル ・研究の実施 ・研究対象の抽出 ・研究の依頼 ・日程調整	⇒研究倫理申請 ：第1月曜日 (7/1) 第3火曜日 (7/16) 第5月曜日 (7/29)	座長のスケジュール調整案提示
8月	※地域看護学実習Ⅱのインターバル ※夏期休暇 ・研究の実施 ・調査票配布、インタビュー等 ・データの回収 ・データ入力、逐語録の作成	⇒研究倫理申請 ：第1月曜日 (9/2)	
9月	※夏期休暇 ・データの整理・分析	⇒研究倫理申請 ：第1月曜日 (9/2)	・卒業研究発表等要領の印刷、教員への配布
10月	データの分析 まとめと考察	1日：第3回オリエンテーション (発表会の運営、原稿作成等) 21日(月)正午 ：プログラム用演題名提出	試写日程調整 21・22日(月・火) プログラム演題編集 23日(水) プログラム印刷 24日(木) プログラム封筒詰め 25日(金) プログラム発送
11月	抄録原稿作成 パワーポイント作成 発表原稿作成 集録集原稿作成	13日(水)正午：抄録原稿提出 28日(木)終日：卒業研究発表会	13・14日(水・木)抄録原稿編集 15日(金)抄録印刷発注⇒校正1回 22日(金)納品⇒仕分け 25日(月)学内配布 27日(火)会場準備
12月		4日(水)正午：集録原稿提出	4・5・6日(水・木・金)集録集編集 9日(月)集録集印刷発注⇒校正1回 年内：納品 下旬：成績の取りまとめ⇒提出 実習webアンケートによる科目の総括
1月			月上旬：集録集仕分け⇒封筒詰め ⇒配布、発送
備 考			
<p>*学習進行表は、無理なくゴール達成するためのあくまでも目安である。</p> <p>*卒業研究は、実習、国家試験勉強、就職試験、進学試験等、個々人の重要な課題と併行しながら進めなければならないので、時期によって集中すべき課題を見極め、頭を切り替えながら、時間を合理的に使って着実に取り組むこと。</p> <p>*年度初め、及び、節目節目に教員－学生間で日程を調整し、平均して週1コマ程度のゼミまたは個別指導の時間を設定して計画的に進めること。</p> <p>*人を対象とした研究を行う場合には、研究の実施に先立ち、看護学科卒業研究倫理審査を受けることを原則とする。</p>			



授業科目名	看護管理論	担当教員	教授 津本 優子		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2

### 授業概要

看護管理に関する知識は、看護管理者だけに求められるものではない。看護の組織に属するメンバー1人1人が看護管理の知識を持ち、それを臨床や教育・研究など看護が実践されるあらゆる場で活用することにより、豊かで質の高い看護が実現される。看護を組織的に実践していくことの意義と課題を、現場のミクロ的視点と、社会のニーズや政策などのマクロ的視点を交錯させながら学び、保健医療福祉教育のネットワークの要としての看護職の役割と機能を認識し、看護専門職としての将来像を展望する。

### G I O (一般目標)

看護専門職としての質の高い看護サービス提供に対する責務の観点から、看護管理の必要性和重要性を認識するとともに、その展開における基本的方法についての理解を深め、実践への見通しを持つ。

### S B O (行動目標)

1. なぜ看護管理を学ぶのか。サービスとしての医療・看護という考え方と、看護サービスのマネジメントとしての看護管理の意義を理解する。
2. 組織とその機能、リーダーシップの定義、マネジメントの定義、管理モデルの変遷、変化理論と問題解決の方略等に関する諸理論を理解し、組織運営におけるリーダーシップの重要性を認識する。
3. 看護倫理に根ざした実践システムとしての看護管理のあり方、看護管理者と看護実践者の果たす役割、専門職としての課題を理解する。
4. 看護の質向上におけるキャリア開発の意義、キャリア開発のための個人と組織の方略、キャリア開発の制度、プロセス、について理解する。
5. 医療におけるリスクマネジメントの歴史、概念、理念、持つべき視点、基本的な方法論について理解する。
6. 病院の組織的な安全管理体制とシステム作り、リスクの把握・分析・対応のサイクルとその方法について理解し、医療組織の一員として、看護専門職としての役割を理解する。
7. 保健医療福祉教育のネットワークの要としての看護職の役割と機能を確認し、看護専門職としての将来像を展望する。

### 成績評価の方法

授業への参加度、まとめのレポート等により総合的に評価する。

### 教科書

- 1) 上泉和子他、『系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践 [1] 看護管理』, 医学書院

### 参考書

- 1) 中西睦子：『看護サービス管理 第4版』, 医学書院
- 2) L.コーン他, 米国医療の質委員会, 医学ジャーナリスト協会翻訳, 『人は誰でも間違えるーより 安全な医療を目指して』, 日本評論社
- 3) 内田宏美他：『実践から学ぶ病院リスクマネジメント』, 診断と治療社

## 授業計画

回	テーマ	授業内容	担当者
1	社会の中の看護	社会の健康ニーズに応えるために ・保健医療福祉のネットワークの要としての看護職の役割 ・包括ケアの時代における看護職の役割と責務	津本
2	看護管理概説	・看護サービス管理という考え方 ・看護の組織化, 管理プロセス	津本
3	看護の質保証と人材の活用	看護の質保証と人材育成 ・良質な看護サービスを提供するための人員配置, 看護体制, 看護方式	津本
4	看護専門職の育成	看護専門職と実践能力 ・専門職とは何か ・コアカリキュラムによる看護学士力の育成	津本
5	看護専門職の育成	ベナー看護論に基づく卒後継続教育 ・新卒看護師の組織社会化・専門職社会化を支えるシステム	津本
6	看護専門職の育成	ベナー看護論に基づくジェネラリストの育成 ・キャリアラダー・システムによる看護実践能力の育成と支援	津本
7	看護専門職の育成	高度看護実践者の育成と看護の質 ・卓越したジェネラリスト（クリニカルナースリーダー）スペシャリストの育成と活用 ・次世代の育成と看護学の深化のための看護学研究者の育成	津本
8	看護管理の実際	医療リスクマネジメントの概念・視点・方法	川上 <sup>*</sup>
9	看護管理の実際	医療リスクマネジメントの実際と看護職 ・医療安全の仕組みづくり①	川上 <sup>*</sup>
10	看護管理の実際	医療リスクマネジメントの実際と看護職 ・医療安全の仕組みづくり②	川上 <sup>*</sup>
11	看護管理の実際	医療の質と安全管理 ・安全管理の質の評価・看護職の役割と責務	川上 <sup>*</sup>
12	組織論の活用	組織変革とリーダーシップ ・組織の機能・生成プロセス・力学	津本
13	組織論の活用	組織変革とリーダーシップ ・変化学論, リーダーシップ理論の活用	津本
14	看護管理と倫理	・看護実践と看護管理におけるジレンマ ・ジレンマに対する組織的対処	津本
<p>備考 後期 金曜日 5・6・7・8時限</p> <p>※ 島根大学医学部附属病院</p>			

授業科目名	家族看護論	担当教員	教授 若崎 淳子・橋本 龍樹, 准教授 秋鹿 都子・橋本 美幸, 講師 土江 梨奈, 助教 佐藤 美紀子		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<b>授業概要</b> 看護学における家族を理解するための諸理論を学び、看護の対象としての家族について理解を深め、家族看護の実践に向けて臨床や地域等の現場における家族支援のあり方を学ぶ。					
<b>G I O (一般目標)</b> 1. 看護学における家族を理解するための諸理論を学び、看護の対象としての家族について理解を深める。 2. 家族看護の実践に向けて、臨床や地域等の現場における家族支援のあり方を学ぶ。					
<b>S B O (行動目標)</b> 1. 家族看護で用いる理論を概観し、看護の対象としての家族について理解を深め、説明できる。 2. 実践に向けて、周産期における家族への支援について説明できる。 3. 実践に向けて、病気や障がいをもつ子どもの家族への支援について説明できる。 4. 実践に向けて、病をもつ高齢者の家族への支援について説明できる。 5. 実践に向けて、がん患者の家族への支援について説明できる。 6. 実践に向けて、学校における子どもと家族への支援について説明できる。 7. 家族に寄り添うということを理解し、家族支援について説明できる。 8. 家族に関する事例の記述や検討・討議を通じて、理論(科学的根拠)と事例を統合できる。					
<b>成績評価の方法</b> [レポート] 60% [プレゼンテーション] 20% [受講態度(出席状況を含む)] 20% (毎回の授業への取り組み姿勢, ディスカッション内容等) ※出席状況は毎時のリアクションペーパーにより確認する。					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b> [教科書] 指定なし [参考書] 1. 上別府圭子他: 系統看護学講座別巻 家族看護学, 医学書院, 最新版. 2. 鈴木和子, 渡辺裕子: 家族看護学-理論と実践 第3版, 日本看護協会出版会, 2006. 3. 山崎あけみ, 原 礼子: 家族看護学第2版, 南江堂, 2015. 4. その他: 必要に応じて授業の中で紹介する。					

## 授業計画

回	授業日	時 間	内 容	学習形態	担 当
1	9月26日(木)	13:00~14:40	ガイダンス 家族看護とは：概論	講義	若崎
2	9月30日(月)	13:00~14:40	病気や障がいをもつ乳幼児期の子どもの 家族の支援	講義・演習	秋鹿
3	10月7日(月)	13:00~14:40	病気や障がいをもつ学童期の子どもの家 族の支援	講義・演習	秋鹿
4	10月15日(火)	13:00~14:40	病気や障がいをもつ思春期にある子ども をもつ家族の支援	講義・演習	秋鹿
5	10月24日(木)	13:00~14:40	病をもつ高齢者の家族の理解	講義	佐藤
6	10月31日(木)	13:00~14:40	病をもつ高齢者の家族への支援	講義・演習	佐藤
7	11月7日(木)	13:00~14:40	周産期における家族への支援 その1	講義・演習	橋本美
8	11月14日(木)	13:00~14:40	周産期における家族への支援 その2	講義・演習	橋本美
9	11月21日(木)	13:00~14:40	治療過程に在るがん患者の家族の理解と 支援	講義	若崎
10	12月5日(木)	13:00~14:40	学校における子どもへの支援と家族看護 その1	講義	土江
11	12月12日(木)	13:00~14:40	学校における子どもへの支援と家族看護 その2	講義	土江
12	12月19日(木)	13:00~14:40	学校における子どもへの支援と家族看護 その3	講義	土江
13	12月13日(金)	16:50~18:30	家族に寄り添うとは その1	講義	橋本龍
14	12月20日(金)	16:50~18:30	家族に寄り添うとは その2 まとめ	講義	橋本龍

### 備 考

※担当者の都合や授業展開により時間変更あり。

授業科目名	緩和ケア論	担当教員	教授 若崎 淳子・橋本 龍樹, 准教授 秋鹿 都子 助教 井上 和子・佐藤 美紀子 他		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<b>授業概要</b>					
<p>緩和ケアの概念並びに患者とその家族が抱える全人的苦痛・苦悩を理解し、緩和に向けて必要なケアを実践するための看護上の知識を学習する。また、事例を通して、病とともに生きる人々とその家族の体験を理解し、全人的な看護実践に向けて適切に援助を提供する方法を検討する。そして、一連の学習過程を通じて、援助者としての姿勢と自己の死生観を明確化する。</p>					
<b>G I O (一般目標)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 緩和ケアの概念並びに患者とその家族が抱える全人的苦痛・苦悩を理解し、緩和に向けて必要なケアを実践するための看護上の知識を学習する。</li> <li>2. 事例を通して、病とともに生きる人々とその家族の体験を理解し、全人的な看護実践に向けて適切に援助を提供する方法を検討する。</li> <li>3. 1. 2. を通じて、援助者としての姿勢と自己の死生観を明確化する。</li> </ol>					
<b>S B O (行動目標)</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 緩和ケアの概念を理解する。</li> <li>2. 臨床看護実践上で用いる理論やモデルを概観・理解し、対象理解に活用する。</li> <li>3. 発達段階や病期、疾患により異なる全人的苦痛と苦悩を理解する。</li> <li>4. 対象の全人的理解に基づき、苦痛緩和に向けた看護の方法を検討・討議する。</li> <li>5. 緩和ケア領域における倫理的諸問題や課題を理解し、看護支援を思考・討議する。</li> <li>6. 緩和ケア認定看護師の役割と実践を理解する。</li> <li>7. 緩和ケアにおける地域連携の実際を理解する。</li> <li>8. 緩和ケアに関する事例検討や講義、演習を通じて、援助者としての姿勢と自己の死生観を明確化する。</li> </ol>					
<b>成績の評価方法</b>					
<p>[レポート] 70%</p> <p>[プレゼンテーション] 10%</p> <p>[受講態度 (出席状況を含む)] 20% (毎回の授業への取り組み姿勢、ディスカッション内容等)</p> <p>※出席状況は毎時のリアクションペーパーにより確認する。</p>					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>					
<p>[教科書]</p> <p>指定なし</p> <p>[参考書]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 恒藤 暁, 内布敦子: 系統看護学講座別巻 緩和ケア, 医学書院, 最新版.</li> <li>2. 梅田 恵, 射場典子: 緩和ケア, 改訂第2版, 南江堂, 2018.</li> <li>3. 鈴木志津枝: 緩和・ターミナル看護論, ニューヴェルヒロカワ, 最新版.</li> <li>4. その他: 必要に応じて授業の中で紹介する。</li> </ol>					



## 授業計画

回	授業日	時 間	内 容	学習形態	担 当
1	10月1日(火)	13:00～14:40	ガイダンス 死生観の意識化 －自己(個)として・看護者として－ 緩和ケアとは(概論)	講義	若 崎
2	10月8日(火)	13:00～14:40	高齢者の緩和ケア	講義	佐 藤
3	10月29日(火)	13:00～14:40	高齢者の緩和ケア －エンドオブライフケアを中心に－	講義・演習	佐 藤
4	11月5日(火)	13:00～14:40	小児の緩和ケア その1	講義・演習	秋 鹿
5	11月6日(水)	10:25～12:05	小児の緩和ケア その2	講義・演習	秋 鹿
6	11月12日(火)	13:00～14:40	がん患者の緩和ケア がん患者の理解と主要な概念・理論	講義	若 崎
7	11月19日(火)	13:00～14:40	終末期の鎮静 緩和ケア領域における倫理的諸問題・ 課題の理解と対応	講義・演習	若 崎
8	11月26日(火)	13:00～14:40	慢性的な機能障害のある患者の緩和ケア その1	講義	井 上
9	11月28日(木)	8:30～10:10	慢性的な機能障害のある患者の緩和ケア その2	講義・演習	井 上
10	12月3日(火)	13:00～14:40	緩和ケア認定看護師の役割と活動	講義	緩和ケア 認定看護師
11	12月6日(金)	16:50～18:30	こころと緩和ケア	講義	橋本 龍
12	12月10日(火)	13:00～14:40	緩和ケア認定看護師の実践とチーム医療	講義	緩和ケア 認定看護師
13	12月17日(火)	13:00～14:40	緩和ケア～地域連携をつむぐ～	講義	地域医療連 携センター MSW
14	12月24日(火)	10:15～11:45	まとめ／自己の死生観の明確化	講義	若 崎
<p>備 考</p> <p>※非常勤講師等の都合により、時間変更あり。</p> <p>教室：N12</p>					

授業科目名	クリティカルケア論	担当教員	教授 福田 誠司 他		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2
<b>授業概要</b>					
<p>この科目では、講義をとおして、生命危機状態にある重症患者（患児）と家族の状況を理解し、呼吸・循環管理、苦痛の緩和、日常生活の援助、家族への心理的援助、倫理的課題等の看護について学ぶ。</p>					
<b>G I O（一般目標）</b>					
<p>生命危機状態にある患者とその家族について理解し、生命維持・全身状態改善・悪化防止・QOL向上のために必要な看護について理解できる。</p>					
<b>S B O（行動目標）</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命危機状態に陥った患者の観察に必要な知識と技術について説明できる。</li> <li>2. 生命危機状態に陥った患者の身体的・心理的・社会的特徴について説明できる。</li> <li>3. 生命危機状態に陥った患者の生命維持、苦痛の緩和、日常生活援助などQOL向上のための看護援助について理解できる。</li> <li>4. 生命危機状態にある患者の家族のニーズを理解し、援助方法について説明できる。</li> <li>5. さまざまな場におけるクリティカルケア看護の実際について理解できる。</li> <li>6. クリティカルケアにおける倫理的問題と望ましい対応について考えることができる。</li> </ol>					
<b>成績評価の方法</b>					
<p>授業への参加状況、レポートで総合的に評価する。</p>					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>					
<b>【参考書】</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 池松裕子編著；クリティカルケア看護Ⅰ・Ⅱ　メヂカルフレンド　2011</li> <li>2. 寺町優子，井上智子，深谷智恵子編集；クリティカルケア看護　理論と臨床への応用　日本看護協会出版会　2007</li> <li>3. 佐藤まゆみ，林　直子編集；急性期看護Ⅱ－救急看護，南光堂　最新版 適宜，資料配布</li> </ol>					

## 授業計画

回	日程	テーマ	授業内容
1	9/26	クリティカルケア看護の概要	クリティカルケアの概念と意義, クリティカルケアを必要とする患者
2	10/3	クリティカルケアを必要とする患者の生命を支える看護	呼吸機能の安定をはかるための援助① ・呼吸機能アセスメント
3	10/3		呼吸機能の安定をはかるための援助② ・酸素化の維持・促進への援助
4	10/10		呼吸機能の安定をはかるための援助③ ・人工呼吸器装着している患者の看護
5	10/10		循環機能の安定をはかるための援助① ・循環機能アセスメント
6	10/24		循環機能の安定をはかるための援助② ・心電図正常波形の理解と致死性不整脈
7	10/24		循環機能の安定をはかるための援助③ ・心電図正常波形の理解と致死性不整脈
8	10/31		重症患者の苦痛の緩和 ・鎮静, 鎮痛方法と評価
9	11/7		クリティカルケアを必要とする患者と家族の生活を支える援助
10	11/14		心理的危機状態にある患者・家族の看護
11	11/21	初療看護	初療における患者と家族への看護の実際
12	12/5	外傷患者の看護	外傷初期患者のアセスメントと看護
13	12/12	熱傷患者の看護	熱傷患者のアセスメントと看護
14	12/19	NICU看護	NICU入室中の患児と家族への看護の実際
<p>備考 授業日程は変更になることがあります。</p>			



授業科目名	看護理論講読	担当教員	准教授 福間 美紀 他		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	15	単位数	1
<b>授業概要</b> <p>この科目では、これまでの授業で取り上げていない看護の新しい考え方やケア方法について、オムニバス形式で講義します。</p> <p>授業や実習で学んだことや疑問に思ったことをふまえながら、新たな知見を得たり看護を再考することによって、これからの看護の方向性について展望します。</p> <p>また、実習での看護実践を理論を用いて振り返り、今後の課題について考えます。</p>					
<b>G I O (一般目標)</b> <p>看護の理論やケア方法について新たな知見を得るとともに、これからの看護について考える。</p>					
<b>S B O (行動目標)</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の理論と実践の関連性、および理論の意義と課題について説明できる。</li> <li>2. 近年話題になっている看護の新しい考え方、理論、ケア方法について理解する。</li> <li>3. これまでに学んだことや疑問に思ったことをふまえて看護について再考し、自分自身が将来めざす看護の方向性について自分の考えを述べることができる。</li> <li>4. 実習での看護実践を理論を用いて振り返り、生涯の目指す看護職としての課題について考えることができる。</li> </ol>					
<b>成績評価の方法</b> <p>プレゼンテーションおよび討議での参加状況により評価する。</p>					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b> <p>授業中に資料を配布する。</p>					

## 授業計画

回数	月日	時限	項目	内容	担当
1	10月3日	7・8	ガイダンス	看護理論の活用 看護実践の課題解決のために 臨地実習の振り返り	福間
2	10月10日	7・8	看護に活用できる中 範囲理論	バンデューラの自己効力感 看護実践への活用	宮本
3	10月24日	7・8	ケアリング	ワトソンのヒューマンケア 看護実践への活用	福間
4	10月31日	7・8	行動変容・行動強化 のケア	保健信念モデル 看護実践への活用	小笹
5	11月7日	7・8	認知症のケア	パーソンセンタードケア 看護実践への活用	原
6	11月14日	7・8	事例分析	臨地実習で課題の残った事例の分析 －看護理論を用いて (学生によるプレゼンテーション)	福間
7	11月21日	7・8	まとめ	自らの看護実践を豊かにするための理 論活用のしかた	福間

### 備 考

プレゼンテーション資料は、看護理論購読で学んだ理論家の理論、概念等を用いて、自らが経験した臨地実習の事例を振り返り体験した課題と、看護理論の実践への活用について考察する。

授業科目名	看護教育論	担当教員	教授 津本 優子		
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	15	単位数	1
<b>授業概要</b> <p>この科目では、社会の変化や看護職のニーズをふまえて、看護専門職（保健師・助産師・看護師）の生涯教育という観点から、看護の基礎教育と卒業後の継続教育について学びます。</p> <p>特に、歴史的変化の大きい看護の基礎教育制度の変遷とその意味、および継続教育と上級資格制度について学び、これからの看護教育のあり方と自分自身の職業生活の展望について考えます。</p>					
<b>G I O（一般目標）</b> <p>看護教育の目的、特殊性、教育・資格制度の変遷と動向を理解し、これからの看護教育のあり方について考える。</p>					
<b>S B O（行動目標）</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護教育の目的、特殊性、価値、現在の課題について理解する。</li> <li>2. 看護職の基礎教育制度とこれからの動向について理解する。</li> <li>3. 看護職の卒後継続教育システムおよび上級資格制度について理解する。</li> <li>4. 看護専門職としての自分自身の継続教育の展望について考える。</li> </ol>					
<b>成績評価の方法</b> <p>レポートにより評価する。</p>					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b> <p>授業中に資料を配布する。</p>					

## 授業計画

回数	テーマ	内 容	担当
1	看護教育の特徴	現代社会の変化に伴う看護職のニーズの変化 看護教育の特殊性, 価値, 問題	津本
2	看護教育制度の動向	看護の教育制度の変遷 看護教育の歴史が持つ意味	津本
3	〃	看護の基礎教育制度の動向, 今日の課題 看護の継続教育の種類, 内容, 動向	津本
4	看護職の上級資格制度	専門看護師の資格, 教育制度, 役割と活動内容 認定看護師の資格, 教育制度, 役割と活動内容	津本
5	〃	看護学教育者の資格, 教育制度, 活動の実際 看護学研究者の資格, 教育制度, 活動の実際	津本
6	看護職と生涯教育	生涯教育としての看護教育 大卒看護職に期待されるものは何か	津本
7	〃	まとめ レポート	津本
備 考			

# 專 門 教 育 科 目

( 助 產 科 目 )

授業科目名	助産業務管理	担当教員	准教授 橋本 美幸 他						
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択						
開講形態	講義	時間数	15	単位数	1				
<b>授業概要</b>									
<p>助産師の業務に関する法令、倫理規定を学び、それらをふまえて、効果的な助産業務遂行のための管理の原則と方法について学ぶ。</p>									
<b>G I O (一般目標)</b>									
<p>母子およびその家族に対し、安全で快適な妊娠・出産・産褥の環境を提供するために必要な業務、管理、評価を学ぶ。</p>									
<b>S B O (行動目標)</b>									
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 助産業務の概念、特性、助産師の法的身分、責任について理解できる。</li> <li>2. 周産期医療の現状と助産師の役割について理解できる。</li> <li>3. 場に応じた助産業務管理の実践が理解できる。</li> <li>4. 災害時の助産管理について理解できる。</li> <li>5. 産科医療事故の防止と助産師の法的責任について理解できる。</li> <li>6. 助産師としての自己の課題と学習計画を立案できる。</li> </ol>									
<b>成績評価の方法</b>									
<table> <tr> <td>筆記試験</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>課題レポート</td> <td>30%</td> </tr> </table>						筆記試験	70%	課題レポート	30%
筆記試験	70%								
課題レポート	30%								
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>									
<b>教科書</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 我部山キヨ子編：助産学講座 (10) 助産管理, 医学書院</li> <li>2) 福井トシ子編：[新版] 助産師業務要覧 第3版 I 基礎編, 日本看護協会出版会</li> <li>3) 福井トシ子編：[新版] 助産師業務要覧 第3版 II 実践編, 日本看護協会出版会</li> </ol>									

## 授業計画

回	月日	テーマ	授業内容	担当者
1	10月29日	助産管理の概念と助産師の役割	助産管理の基本的概念と特性	松浦
2	11月5日	周産期医療の現状と課題	周産期医療システムの運用と地域連携	松浦
3	11月12日	助産管理の実際①	助産所の運営と管理	松浦
4	11月19日	助産管理の実際②	医療施設での助産管理	附属病院 師長
5	11月26日	助産管理評価	医療チームにおける助産管理評価	松浦
6	12月3日	産科医療事故と助産師の法的責任	産科医療事故とリスクマネジメント	松浦
7	12月10日	災害と助産管理	災害時における助産管理	橋本
		試験		

### 備 考

※助産師国家試験受験資格の受験要件講義である。

# 教職に関する科目



授業科目名	教職実践演習	担当教員	講師 土江 梨奈 他		
開講年次及び学期	4年 通年	必修・選択の別	選択		
開講形態	演習	時間数	30	単位数	2

### 授業概要

教職実践演習は、教職課程の他の授業の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身につけた資質能力が、教員（養護教諭）として最小限度必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかについて、教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するものであり、いわば全学年を通じた「学びの軌跡の集大成」として位置付けられるものである。この科目を通じて、4年間の教職課程をふり返り、教職における知識・技術・態度などの自己の学びの課程と学習内容を自覚すると同時に、将来、教員（養護教諭）になる上で、自己にとって何が課題であるかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることを目的とする。

1. 履修カルテと教職履修ポートフォリオによる履修履歴の把握と課題の明確化
2. 演習課題の設定
3. 課題に対する実践発表の実施
4. 総括協議

### 授業の到達目標

本授業の目標は、以下の4つの事項が身につけているか確認することである。

1. 教員としての使命感や責任感、教育的愛情
2. 教育現場に必要な対人関係能力をもって、学校教員としてふさわしい社会的行動をとり、保護者や地域、医療機関等との良好な関係性を築くこと
3. 保健管理・保健教育・組織活動等に必要な学校理解、幼児・児童・生徒理解、保護者理解に関する実践的知識・技能とそれに基づく保健室経営計画の作成
4. 保健管理・保健教育・組織活動等に必要な教育実践力、探求力、リテラシーなど

### 成績評価の方法

養護教諭として最小限度必要な資質能力が身につけているかを、授業への参加、課題レポートの提出、演習課題の取り組みと発表により総合的に判断し、担当教員等が「合格」「不合格」によって単位認定を行う。

### 教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

## 授業計画

回	日程	曜日	テーマ	授業内容	担当者
1	未定		全体オリエンテーションと全体講話	「教職」・「教員免許状」認定・取得等を巡る問題と「教職実践演習」の主旨、進め方、注意事項、単位認定等	教育学部 権藤誠剛教授 他
2					
3	8月29日 9:00～10:30	木	教職の意義、使命感や責任感について	履修履歴などを事前に自己把握する。左記に関してのレポート(A4:1枚程度)を基にグループ討論。	土江
4	8月29日 10:45～12:00	木	履修カルテ等を基にした面接・指導	履修履歴のふり返りによる成長過程の検証	土江
5	未定 8:30～16:00		特別支援学校での養護教諭の職務	特別支援学校の学校実地見学・養護教諭の講話などにより、特別支援教育における養護教諭の職務や児童生徒理解を深める。(事後:A4 1枚程度 レポート提出)	土江
6					
7	9月30日 9:00～12:00	月	保健室経営に関する実践演習	人間関係づくりエクササイズ 演習2事例:グループワークと全体発表	渡辺順子先生
8					
9	9月30日 14:00～17:00	月	保健室経営計画と保健室経営の進め方	各自が作成した保健室経営計画について、グループ討論と全体発表	渡辺順子先生
10				実践事例(2例程度。活字・ビデオ等)。グループ討論とクラス全体発表・討論	
11	10月1日 9:00～12:00	火	健康相談活動に関する実践演習	リラクゼーション体験 事例研究1～2事例:グループ討論と全体発表 保健室の環境づくり	渡辺順子先生
12			養護教諭と職業倫理に関する実践演習	実践事例(2例程度。活字・ビデオ等)。グループ討論とクラス全体発表・討論	
13	10月8日 14:30～16:00	火	学校保健の現状・課題と養護教諭に求められる資質力量	指導主事による講話 (事後:A4 1枚程度 レポート提出)	岩地千晶先生 指導主事
14	未定	日	全体のまとめ	取り組みの報告と全体討論	教育学部 権藤誠剛教授 他

### 備考

履修カルテ、教職履修ポートフォリオの作成・提出を2年次、3年次に求める。未提出の場合、または記入内容が不十分な場合には「教職実践演習」の履修を認めない。

1・2回、14回の授業は松江キャンパス、20番教室で行う。

日程について、変更する可能性がある。

養護教諭一種免許状取得のための教職に関する科目の単位の修得方法

教職に関する科目	授業科目名	必修 単位	開講時期	開講場所	担当教員	備 考	
教職の意義等に関する科目	教職概論C	2	1年前期				
教育の基礎理論に関する科目	教育原論Ⅱ	2	1年後期				
	人格発達心理学概説	2	1年後期				
	教育社会学概説	2	1年後期				
教育課程に関する科目	教育課程論	2	2年前期				
	道徳及び特別活動論	2	2年後期				
	視聴覚教育論	2	2年後期				
生徒指導及び教育相談に関する科目	生徒・進路指導論	2	2年前期				
	教育相談の理論と方法	2	1年後期				
養護実習	養護基礎実習事前・事後指導	1	3年前期				
	養護基礎実習	2	3年前期				
	養護展開実習事前・事後指導	1	4年前期	出雲キャンパス	講師 土江梨奈 他		
	養護展開実習	2	4年前期	出雲市内小・中学校			
教職実践演習	教職実践演習 (養護教諭)	2	4年通年	出雲キャンパス			
				松江キャンパス 他			
	合計単位数	26					

履修登録については、別途通知する。

2019年度オフィスアワー一覧

講座	教員名	場所	時間帯
基礎看護学	内田 宏美 教授	5階	会議等で不在の場合が多いので、メールをください。 E-mail:uchi@med.shimane-u.ac.jp
	津本 優子 教授	5階	調整しますのでメールください。 E-mail: tsumotoy@med.shimane-u.ac.jp
	福間 美紀 准教授	5階	メールで日程調整します。 E-mail: mk8592@med.shimane-u.ac.jp
	宮本 まゆみ 講師	5階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail: mmiyamot@med.shimane-u.ac.jp
臨床看護学	橋本 龍樹 教授	2階	日程を調整しますので、メールで連絡ください。 E-mail: ryuju@med.shimane-u.ac.jp
	福田 誠司 教授	3階	日程を調整しますので、メールで連絡ください。 E-mail: sfukuda@med.shimane-u.ac.jp
	若崎 淳子 教授		適宜
	秋鹿 都子 准教授	3階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail: aika@med.shimane-u.ac.jp
	橋本 美幸 准教授		適宜
	瀧尻 明子 講師	4階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail: takijiri@med.shimane-u.ac.jp
	松浦 志保 講師	3階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail: shihom@med.shimane-u.ac.jp
地域・老年看護学	原 祥子 教授	5階	水曜日 12:00~13:00 適宜, メール (hara@med.shimane-u.ac.jp) でのコンタクトOK
	小笹 美子 教授	6階	日程を調整しますので、メールをください。 E-mail: yozasa@med.shimane-u.ac.jp
	加藤 真紀 准教授	5階	不明なことがあればご確認ください。 午前中は、研究室をあけていることが多いかもしれません。何かあれば、メールか加藤の携帯に連絡ください。
	榊原 文 講師	6階	適宜 E-mail: aya@med.shimane-u.ac.jp
	竹田 裕子 講師	6階	適宜 E-mail: y.takeda@med.shimane-u.ac.jp
	土江 梨奈 講師	6階	適宜 E-mail: thuchie @med.shimane-u.ac.jp